



あたまにつまった石ころが
キャロル・オーティス・ハースト/文
ジェイムズ・スティーブソン/絵
千葉茂樹/訳 光村教育図書

えほんあ

父は、子どものころからずっと、石を集め続けていました。まわりの人に、「ポケットにもあたまのなかにも石ころがつまってるのさ」と、あきれられていた、そんな父の話聞いてください。

マヤの一生
むくはとじゅう 吉井忠/作 吉井忠/絵
だいにっぽんとしよ 大日本図書

日本文学 913 ム

マヤはりこうな犬でした。家族の一員で、三兄弟といっしょに育ちました。でも、戦争がはじまり食糧が不足すると、国のきまりで、町じゅうの犬が連れていかれはじめたのです。マヤを守りたい！でも……。

神隠しの教室
やまもとえつこ 丸山ゆき/作 丸山ゆき/絵
かいせいしゃ 偕成社

日本文学 913 ヤ

授業時間中、学年のちがう5人の子どもが、とつぜん異次元にある「もうひとつの学校」に来てしまった。5人以外は、先生も生徒もだれもいない学校だ。なぜ、この5人が？もとの世界にもどるには？

走れ！マスワラ
グザヴィエ＝ローラン・プティ/作
はまべきえい 浜辺貴絵/訳 PHP研究所

フランス文学 953 プテ

シサンダは、心臓病のため、いつも発作で苦しんでいる。母さんのマスワラは、得意のマラソンでレースに出場し、その賞金を手術代にと考える。ところが、練習中、マスワラが行方不明に!?

アーマのうそ
キャロル・ライリー・ブリンク/作 谷口由美子/訳
ほりかわりまこ 堀川理万子/絵 文溪堂

アメリカ文学 933 ブリ

パパの仕事のために転校してきたアーマは、同級生にうっかりうそをついてしまう。「あたし、世界一大きな人形を持ってる」。アーマのうそはどんどん広がり、学校の収穫祭で、人形を展示することになってしまう。

春のウサギ
ケヴィン・ヘンクス/作
はらだまさる おおさわあきこ 原田勝+大澤聡子/訳 小学館

アメリカ文学 933 ヘン

春休み、12歳のアミーリアは、大好きな陶芸工房に来ていた男子と仲良くなります。ある日二人は、アミーリアのお母さんそっくりの人を見かけます。お母さんはもう死んでいるはずなのに……。

さよなら エルマおばあさん
おおつかあつこ 大塚敦子/写真・文 しょうがくかん 小学館

ちしきえほん TEピク 49

「私の命は、あと1年くらいだろうから、いろいろ準備をはじめないとね」。ガンのお知らせを受けたおばあさんは、家族の介護を受けながら、一日一日、大切にすごします。胸がじんとする写真絵本。

エジプトのミイラ アリキ/文と絵
かんどりのぶお 神鳥統夫/訳 さくらはじめ かんしゅう 佐倉朔/監修 あすなる書房

歴史 242 ブ

古代エジプト人は、人が死んでも魂は生き続けると考えていました。そこで魂が帰ってこられるように、死んだ人の体をミイラにしたのです。この本を読むと、ミイラの作り方やピラミッドの中のようなすもわかります。

